

## 北京糖尿病研修参加レポート!!

商品

中医美容

WEB

書籍

その他

お問い合わせ先：(株) 誠心堂薬局 本部 TEL：047-300-2293 FAX：047-357-4194

### 薬剤師のステータス『臨床薬剤師』のビジョンはここにある！

薬剤師は**ホームファーマシスト**として、地域の健康管理に積極的にかかわることが求められています。患者さんに直接、薬剤師の職能を発揮し、薬剤師としての意見や思考を持ち、患者さんの悩みや病気に対して薬物療法ができることが「**薬の専門家**」としての「**臨床薬剤師**」と言えます。

誠心堂薬局では、個々の薬剤師が最高のホームファーマシストであるため、会社をあげて「**国際中医師・心理カウンセラー資格取得**」「**中国への研修参加**」を企画・応援しています。

また、貴重な体験である研修で活かした知識・経験の還元を誠心堂スタッフに行い、さらに全員で患者様にわかりやすく伝えていくことが大事だと思います。熱気あふれる薬剤師の研修模様をホームページでご紹介しています。

[http://www.seishin-do.co.jp/seishindo\\_now.html](http://www.seishin-do.co.jp/seishindo_now.html)



### 11月に行われた「北京中医薬大学付属東直門病院の糖尿病研修」には3名の薬剤師が参加いたしました。

研修に参加した薬剤師の感想や研修内容を少しご紹介いたします。

病院では糖尿病外来を見学させていただきました。午前中だけで30人以上の方を診ており、短時間で最小限の間診後、先生が処方を読み上げて周囲の学生さんがそれを書きとめているという流れです。  
先生の講義の後、夜に全員で集まってまとめ会を行うなど充実した日々を過ごせました。来年にも全員で集まり、この研修で得たものを日本でどう活かしていくかを復習する予定です。ただ5日間の研修というだけではなく、今後活かせる研修にし、自身でも中国文化の造詣を深め、患者さんにそれを分かりやすく伝えていくことも中医学を学ぶ者としては大切なのだと実感しました。

11月1日より、北京に赴き糖尿病について研修を受けてまいりました。先生から、飲食、運動、薬物以外の血糖難治素因に対しては睡眠や食欲、便秘、痛みなど他症状を重視してそちらの改善からアプローチしていく**「迂回療法」**という方法がよいと教えていただき、この考え方は薬局にいらっしゃる多くの糖尿病予備軍の方にも応用できるのではないかと思います。西洋医学では、血糖値が上がってからでない治療を始めることは難しいですが、**中医学では生活習慣の段階の改善ができ、それが糖尿病の予防につながるのだ**、ということに改めて認識することができました。

中国医科学院公安門糖尿病治療センターの外来、北京中医薬大学付属東直門病院の病棟を見学させていただきました。  
糖尿病治療では、血糖をコントロールすることはもちろんですが、今回ご指導いただいた先生方も、一番は合併症の予防を考えて治療しておられました。また、血糖コントロールがうまく行かない原因は食事、運動、薬物以外にも**失眠、便秘、精神不安、過労、月経不順**なども関係していることを学びました。これらにおいては、漢方が十二分に活躍できる部分だと思います。趙先生からは、**三陰三陽説**という新たな弁証法を教えていただき、今までの知識に加えて、活用していきたいと思えます。

誠心堂薬局  
西葛西店  
阿妻由紀子



誠心堂薬局  
南行徳店  
山口昌子



誠心堂薬局  
新浦安店  
小島倫子



お役に立てそうなことがございましたら、いつでもお気軽にお問い合わせ下さい。今後とも宜しくお願い致します。